

地域リハビリテーションケース会議 50回記念シンポジウム

北九州とリハビリテーション

＝この地は近代リハビリテーション発祥地＝

学校法人 東筑紫学園

九州栄養福祉大学

リハビリテーション学部 教授

日本リハビリテーション発祥地記念館・

九州リハビリテーション大学校記念館館長

橋元 隆

北九州工業地帯（現在は北九州工業地域）は、1901（明治34）年11月18日、八幡村（現北九州市八幡東区）に官営八幡製鉄所が設立されたことに始まる。

戦前から、筑豊炭田（飯塚・田川）・山口宇部炭田で産出される石炭と中国から鉄鉱石などの原料輸入に適した港湾を背景に、わが国の中核都市（軍事主要都市）であった。



- ☆ 明治33年10月 八幡製鉄病院開院
- ☆ 明治41年に八幡市尾倉皿倉山に病院を移転
- ☆ 昭和20年 8月 6日 広島に原爆投下
- ☆ 昭和20年 8月 8日 八幡大空襲
八幡製鉄病院も被災、大きな被害を受ける
- ☆ 昭和20年 8月 9日 長崎に原爆投下
- ☆ 昭和20年11月
新日鉄八幡製鉄病院が折尾診療所と
現小倉南区葛原、足立山の麓村田牧場地に
曽根診療所を新設



昭和20年8月8日八幡大空襲

戦後、北九州は重工業都市としてわが国の経済復興を担っていた。

これに伴った炭鉱事故や港湾事故などによる、**切断・脊髄損傷をはじめとした重度の労働災害が多発。**

それに対応する専門病院の必要性



☆ 昭和23年 9月：

新日鉄八幡製鉄病院曾根診療所を
労働省九州労災病院に譲渡

(GHQ：General Headquarters 連合国軍最高司令官総司令部)
の介入？



☆ 昭和24年 4月

九州労災病院開院（日本最初の労災病院誕生）

同時に小倉傷痍者訓練所が併設されていた

☆ 加えて、産業災害に対応すべき医学教育（整形外科・神経内科）が九州大学、久留米大学、福岡大学、のちに産業医科大学などにおいて実践されたことは見逃せません

（昭和・平成にかけて、北九州市には国立病院をはじめ、5つの市立病院厚生年金病院、大企業の関連病院が多数ありすべての施設がリハを実施）

内藤三郎 先生

九州労災病院初代院長に就かれた内藤三郎先生曰く（昭和24年4月～昭和40年3月）「病院はけがや病気を治すだけでなく、元のように生活ができるようにしなければならない」

カナダ・トロントにある最古のシステムを取り入れ昭和36年当時の労働省の指名により、九州労災病院に治療的リハから職業的リハを含めた総合的・施設完結型レハビリテーション施設を創設

・ チームアプローチ

☆個々の患者についてまた全体に共通する方策について、相互に情報並びに見解を交換することによって患者に対する所謂協同接近
“Team Approach” が保たれる

・ 情報の共有 (カンファレンスの 必要性)

☆理療師は自分の理学療法だけで更生の目的を達するとは誰も考えていない 自分のチームメンバーとの連絡協議の必要性や、他の治療部の治療活動が彼の治療成績に大きな影響を与える事実を無視することはできない。

・ 専門職の人材育成

☆PT・OT・MSW・義肢装具士などリハ専門職の養成

服部 一郎 先生

神経内科医

九州労災病院初代理学診療科部長（昭和24年～昭和40年）

九州大学温泉研究所から赴任

労災病院の第1号辞令交付

上田敏先生にして、日本のラスクと言わしめた。

マッサージから運動療法主体への理学療法を推進、さらに日本型ADL指導の必要性を強調（和魂洋才）。

理学療法士・作業療法士国家

資格制度設立に尽力された

昭和40年福岡市に長尾病院を開業。

高松鶴吉 先生

整形外科医（元高校教師）

初代足立学園園長（昭和40年開設：

昭和53年北九州市立総合療育センター 平成7年まで所長）

発達障害・障害児療育先駆者

社会福祉法人「あゆみの会」理事長

北九州市の厚生福祉に多大な貢献

総合保健福祉センター（アシスト）1F北九州市立介護実習・

普及センター（福祉用具プラザ北九州）設置発案者

「もう一つのカルテ」

「療育とはなにか」

「障害児のためのテクノエイド」

など著書多数

日本肢体不自由児高木賞受賞

天児 民和 先生

九州大学整形外科教室 第3代教授

昭和44年4月～昭和55年9月 九州労災病院院長

日本最初のリハビリテーションの教科書

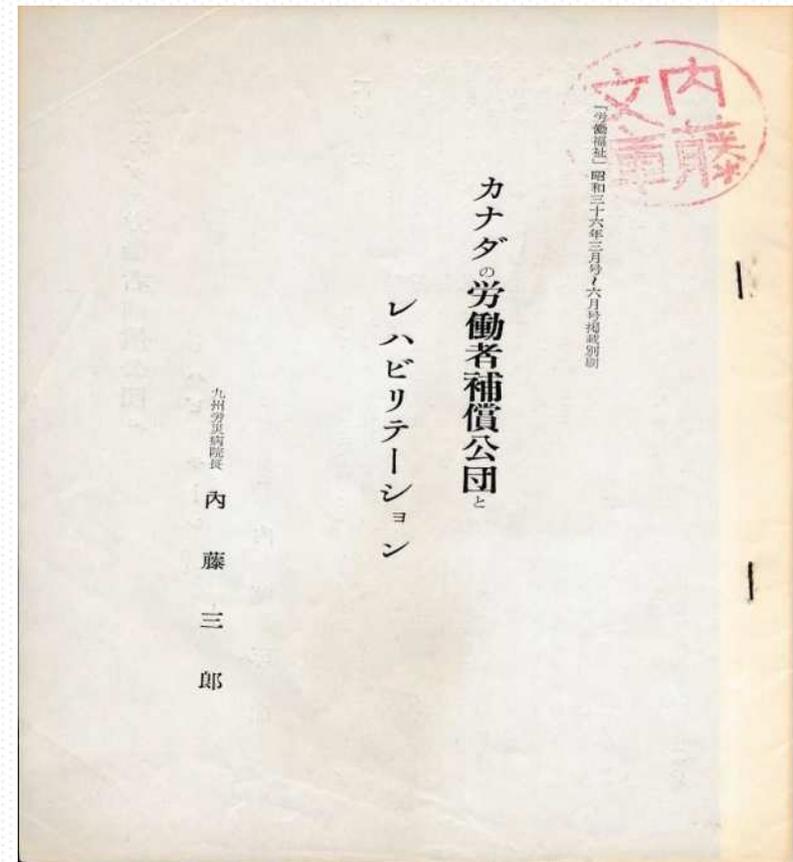
「リハビリテーション — 医学的更生指導と理学的療法 —」

を中村裕先生と執筆（昭和35年）

理学療法士・作業療法士資格制度誕生に尽力。

日本整形外科医学会・日本リハビリテーション医学会の重鎮

昭和36年にカナダのトロントに
あった労災病院を参考に建てられ
た総合的更生的医療施設
(レハビリテーションセンター)



訓練室と呼ばれ運動療法を主体とし、リハビリテーションセンター内には個別治療室、電気・水治療法室、作業療法部門、義肢装具製作室、臨床心理室、ソーシャルワーカー室があり、昭和41年には25m4コース屋外プール、同42年には言語療法室が設置された（延べ約3,500m²）

「東洋一の施設」こんな背景から昭和30年代「リハビリテーションの陽は西から昇った」と言われた。

リハビリテーションに関する施設変遷

- 昭和24年「九州労災病院」開設 全国最初の労災病院
- 昭和40年「足立学園」現北九州市立総合医療センター開設（全国3大センターの一つ）
- 昭和40年「社会福祉法人北九州市社会福祉協議会」発足
- 昭和41年「九州リハビリテーション大学校」開校
- 昭和53年「産業医科大学」開学 リハ医学講座開設
- 昭和62年「老人保健施設 伸寿苑」開設
わが国老健施設のモデル施設
- 平成 4年小倉医師会に「訪問看護ステーション」が開設
- 平成11年「総合保健福祉センター（アシスト21）」開設
- 平成14年若松区医師会に在宅介護支援センター併設
- 平成18年地域包括支援センターの開設（市内24か所）

リハビリテーションに関する北九州市行政の変遷

- 昭和48年市行政に理学療法士・作業療法士採用
（更生相談所）
- 昭和48年9月全国に先駆け「**身体障害者福祉モデル都市**」を宣言。京都市と並び全国初
- 平成 2年「総合リハビリテーションシステム懇談会」開催
「総合リハビリテーションセンター」構想が提案される
- 平成 6年「保健局」と「民生局」を統合し、
「**保健福祉局**」が発足
- 「**年長者相談コーナー**」の設置：八幡東区・若松区役所
- 各区に保健福祉センターを開設
- 平成 7年「総合リハビリテーションセンター」設置計画
発足
- 平成11年「**総合保健福祉センター（アシスト21）**」開設
- 平成28年4月 保健福祉局に「**リハビリテーション推進課**」
誕生。それまでは障害福祉センター所属
現在（PT11名、OT9名、ST2名） 本庁と各区に配属

リハビリテーション関連職種のトピック

- 昭和54年「九州地区理学療法研修会」を立ち上げ
（のちの九州理学療法士・作業療法士合同学会の始まり）
- 平成 6年公衆衛生協会委託地域保健福祉講習会開催
平成10年まで4年間開催
- 平成10年理学療法士・作業療法士のための介護支援
専門員受験講習会開催（全国2カ所）
- 平成12年介護保険制度スタート
- 平成23年3月「第2回日本ケアマネジメント学会 in
北九州」を開催
- 平成28年6月「日本ケアマネジメント学会第15回研
究大会 in 北九州」を開催
- 平成30年「第23回全国地域作業療法研究大会」を開催

地域リハビリテーションケース会議の変遷

- 平成14年2月 保健福祉局地域医療課所轄の「地域リハビリテーションシステム実務者会議」の中でモデル事業としてスタート
委員長：小倉リハビリテーション病院：浜村明德先生
- 平成15年10月「第1回地域リハビリテーションケース会議」開催
- 平成17年「地域リハビリテーションシステム実務者会議」は改称され、「北九州市リハビリテーション支援体制検討会」となる
- 平成18年「地域リハビリテーションケース会議」は単独事業として継続
- 現在は、リハビリテーション推進課事業の一環として開催

| 年度 | 開催日 | 事例等 | ミニ講座等 |
|----------------|------------------------------|---|---|
| H15 (1,019) | 第1回 平成15年10月20日 (278名) | 頭部外傷（肢体不自由＋高次脳機能障害） ① 小倉リハビリテーション病院 MSW朝倉悟朗氏他 | ○脳外傷友の会「ぷらむ」について 会長 小南雅稔氏 ○支援費制度と介護保険 八幡東区役所 半田昭子氏 ○ピア・カウンセリングって何？ NPO法人北九州自立生活センター 林芳江氏 |
| | 第2回 平成15年11月27日 (259名) | 脳梗塞（視覚障害＋片麻痺＋知的障害）① 新日鐵八幡記念病院 MSW内田雄治氏 他 年長者の里在宅介護支援センター CW松岡節子氏 | ○住宅改修について 小倉南区役所 福島豊氏 ○視覚障害者の現状 障害福祉センター 松高紀夫氏 |
| | 第3回 平成16年1月19日 (241名) | 頭部外傷（肢体不自由＋高次脳機能障害） ② 小倉リハビリテーション病院 MSW朝倉悟朗氏 他 障害者地域生活支援センター CN 林芳江氏 区役所保健福祉課 PT 諸富真理氏 | ○行政の役割について 保健福祉局計画課 鳥井陽一氏 |
| | 第4回 平成16年2月23日 (241名) | 脳梗塞（視覚障害＋片麻痺＋知的障害）② 新日鐵八幡記念病院 MSW内田雄治氏 他 年長者の里在宅介護支援センター CW松岡節子氏 介護老人保健施設 正寿苑デイケアセンター OT高野 聡氏 障害福祉センター 歩行訓練士（OM）松高紀夫氏 区役所保健福祉課 PT半田昭子氏 | ○知的障害について 障害福祉センター 安部聡子氏 ○障害受容をめぐる 精神保健福祉センター 三井敏子氏 ○視覚障害を理解するために 福岡県立福岡盲学校 吉松政春氏 ○視覚障害者の特性と生活ニーズ 障害福祉センター 松高紀夫氏 |

北九州市におけるリハ関係医療機関と専門職数

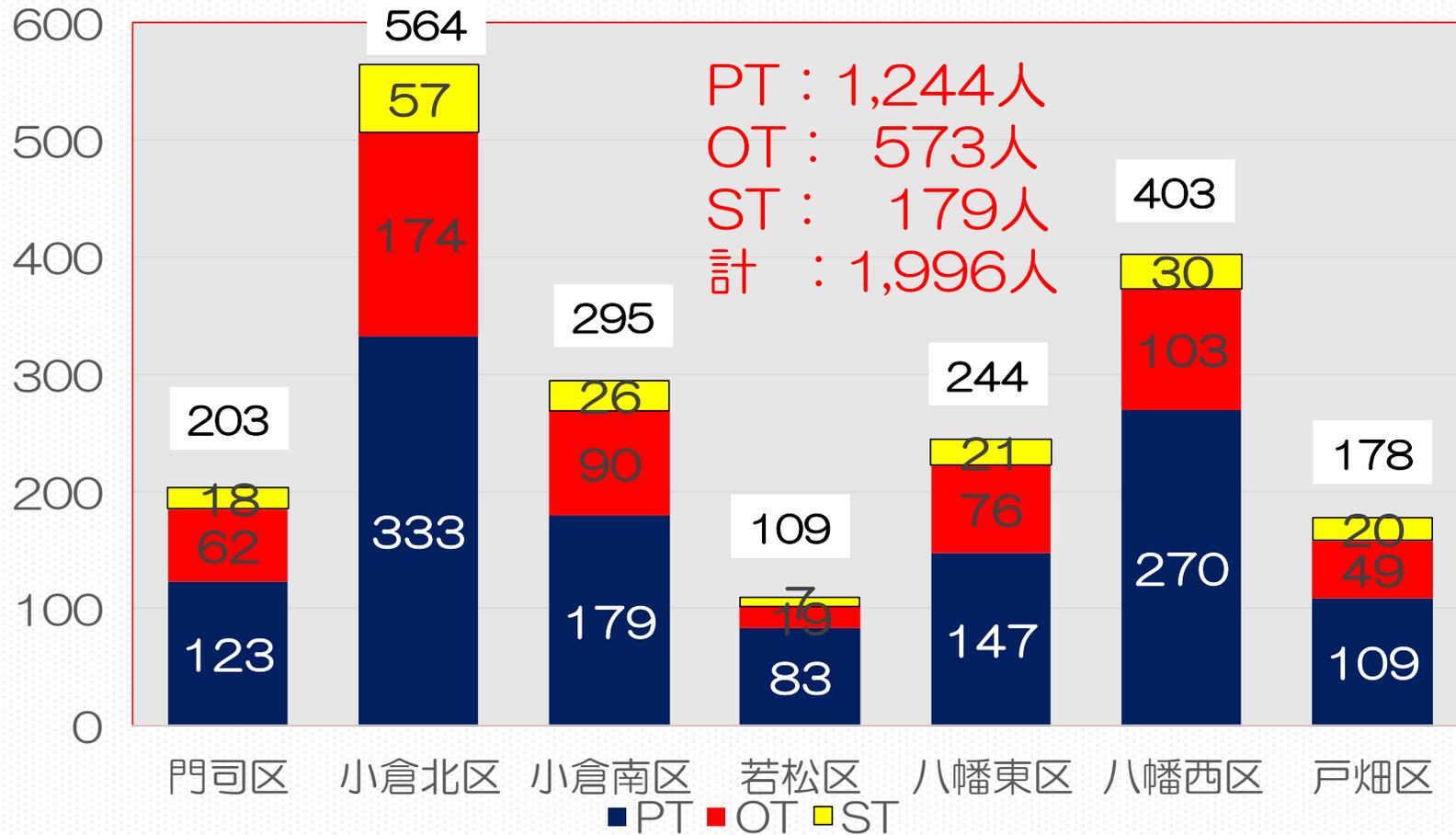
| | | 門司 | 小倉北 | 小倉南 | 若松 | 八幡東 | 八幡西 | 戸畑 | 合計（前年度比） |
|------------|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------------|
| 医療機関数 | | 10 | 18 | 14 | 6 | 7 | 24 | 4 | 83（+9） |
| リハ 専門職数 | PT | 123 | 333 | 179 | 83 | 147 | 270 | 109 | 1,244（+123） |
| | OT | 62 | 174 | 90 | 19 | 76 | 103 | 49 | 573（+15） |
| | ST | 18 | 57 | 26 | 7 | 21 | 30 | 20 | 179（+6） |
| 合計 | | 203 | 564 | 295 | 109 | 244 | 403 | 178 | 1,996（+144） |

赤字は減少

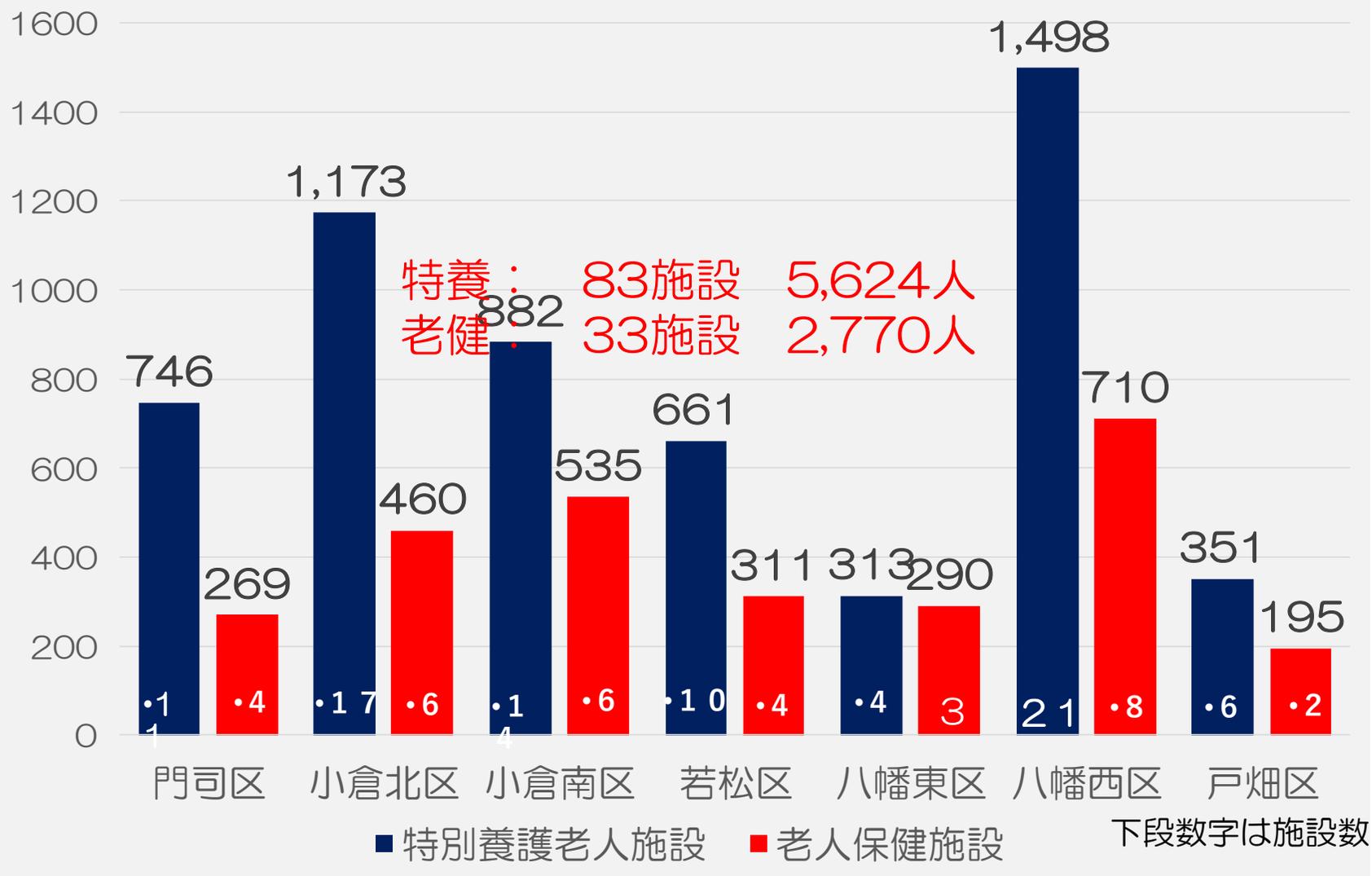


2023年10月23日
北九州市地域リハ推進課

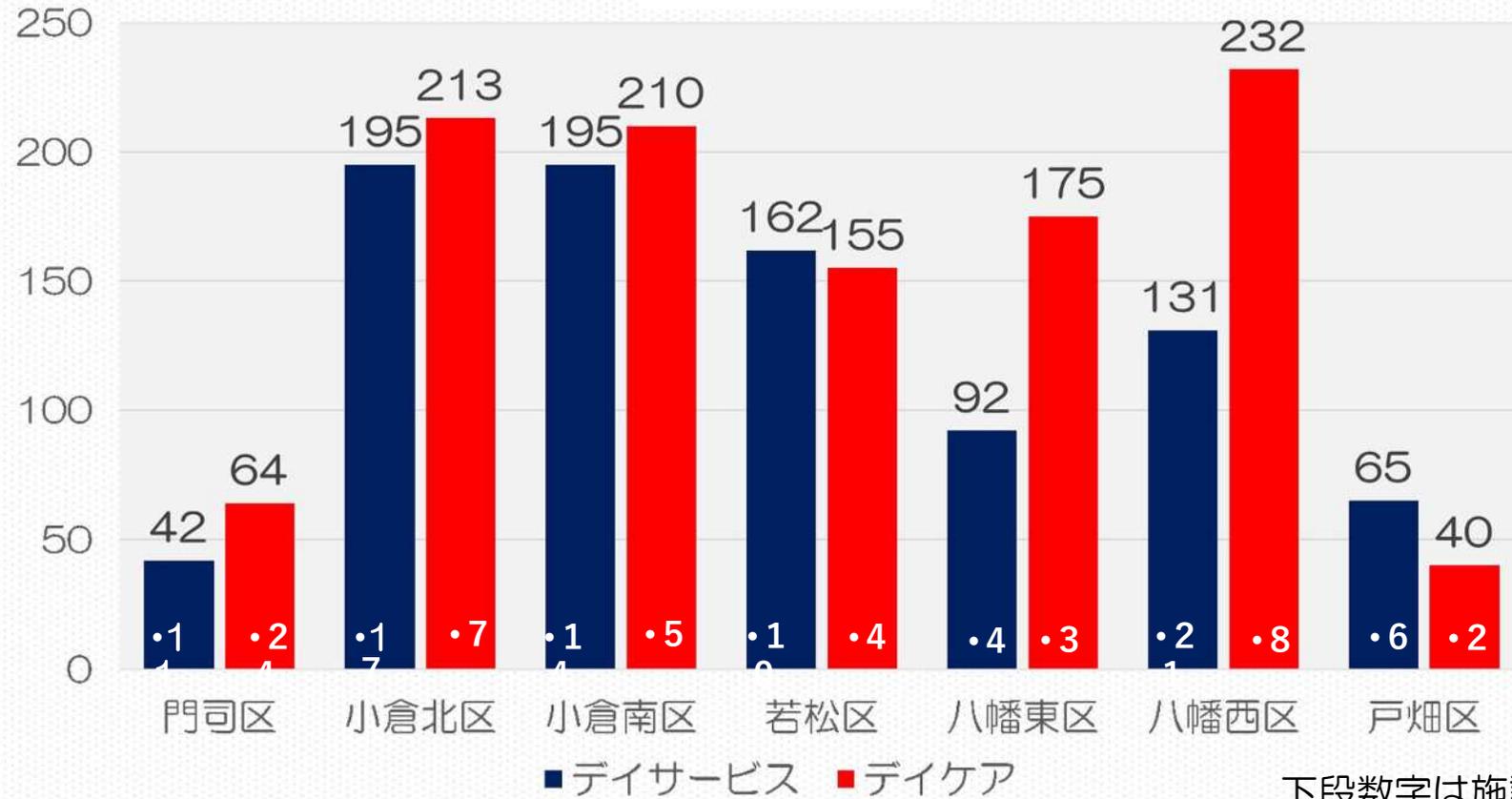
北九州市の医療施設に勤務するリハ専門職数



北九州市の 特別養護老人施設定員数と老人保健施設定員数



北九州市の デイサービス定員数とデイケア定員数



デイサービス：83施設 882人、 デイケア：31施設 1,089人

古くは傷ついた足を霊泉で癒し、山で足腰を鍛え、都に戻り平安京遷都に貢献、まさに**復活**を成し遂げた和気清麻呂伝説の地。

さらに戦後、日本経済**復興**の基盤都市となった北九州、そして昭和24年この地に日本最初の労災病院が設立され、運動療法と物理療法を合わせたリハビリテーション医療の基礎が築かれ**生活再建**の場となった。

障害児・者、高齢者に対するさまざまなモデル事業が先駆的に実施され、地域に還元し、**自分らしい生活**を実現する。そして、それを支援するあらゆる**人財**を育む。

北九州市

リハビリテーションのまほろば：原郷といわれています。